

## 視点 //

# 人類の歴史から子どもたちを思う

考古学者  
佐賀県立佐賀城本丸歴史館長 七田 忠昭



佐賀城本丸歴史館では、正月恒例の“本丸ハイハイレース”が開催されました。復元された本丸御殿の320畳の大広間は出場する赤ちゃんの兄姉や両親、祖父母たちの熱気でいっぱいです。おもちゃや菓子など道具を手に大声でゴールへと誘います。中には立ち上がって失格する赤ちゃんもいます。

親の後についてよちよち歩く子どもの足跡が弥生時代の水田跡から発見され、ほのぼのとした情景を想像したりしますが、考古学の世界では、子どもに関する資料は極めて少ないというのが現状です。

北海道や東北地方などでは、縄文時代の大人の墓から、小さな子どもの手形や足形が押し付けられた粘土板が出土することがあります。孔があるのでひもをつけて身近に吊り下げていたのでしょう。現代と同じく成長の記録として残したものと考えられきましたが、形がくっきり残っていることから死後硬直のときではないかという説もでています。大人の死に対しては、魂が復活しないよう石を抱かせたりして埋葬しますが、子どもの死に対しては母親たちが深く悲しんだことをこの粘土板が伝えてくれます。妊婦をモデルにした土偶や、出産のありさまを表現した土器のレリーフを含め、子どもの誕生に対する驚きと並々ならぬ愛、そして死に対する嘆きや悲しみを感じることができます。

弥生時代になると、弥生人たちは埋葬用の棺桶を用意し、遺体の脇に生前使っていたものや身に着けていたものを添えて再生を願いました。

弥生時代には、佐賀県と福岡県を中心に、埋葬用の大きな土器である甕棺が発達しますが、一つの墓地に数百人、数千人もの弥生人たちが眠っています。私も高校時代から弥生墓地の発掘に携わることが多く、4千以上の墓を発掘しました。いつも悲しみを覚えるのは子どもたちのお墓の数の多さです。

吉野ヶ里遺跡では3千を超す数の甕棺墓を発掘しました。大人用は高さ1m以上の土器二個を合わせて用いるのがふつうですが、高さ30cm程度の土器を用いるのは乳幼児のためのものです。大人の墓の脇に一緒に埋葬されています。棺の大きさや出土した人骨から、全体の半数近くが子どもの墓と考えられます。集落内の子どもたち大勢が一挙に亡くなつたこともありました。おそらく伝染病でしょう。

化学的な医療がなく、ムラの衛生状態や子どもたちの栄養状態が生死を左右する時代だったのです。弥生時代に50%程度だった子どもの死亡率は、現在0.244%（5歳未満）となりました。医療の発達や出産環境の整備が進歩したことを示しています。

吉野ヶ里遺跡からは、沖縄で採れるイモガイの貝殻でつくられた腕輪を左腕に9個つけた女の子など、南海産貝殻の腕輪をつけた数人の子どもの遺体が出土しました。貝の腕輪は祭に携わる者がつけたと考えられており、将来の吉凶を言い当てるなど特別な能力をもつ子どもだったのでしょうか。健康に成長していたら、当時の日本を宗教で率いた卑弥呼のような偉大な大人になっていたかもしれません。

2本の足で立ち上がり、道具を使って何かをしたり、ことばをしゃべったり、絵を描いたり、文字を書くなど、人類が数百万年もかけてこつこつと身につけてきた様々な能力を、子どもたちは生まれてわずか数年で一挙に身につけます。これら輝きを放つ能力に、私たち大人はもっと感動しなくてはいけません。私も、2歳と4歳の孫の相手をしながら、その成長の速さに驚きと感動をもらっています。

将来を担うこどもたちに、幼い時から、自分たちに生を与え大切に育ててくれたかけがえのない親や自然、そして歴史を大切にする心を育んでほしいと願ってやみません。

# 全 日 私 幼 連 の 会 議

●2.18 常任理事会

## 令和2年度私立幼稚園関係予算（案）について文部科学省より説明

全 日 私 幼 連 の 常任理事会が 2月 18日、東京・私 學会館において開催され、28名が出席しました。

田中辰実副会長による開会の言葉、香川敬会長による挨拶の後、議長に小澤俊通副会長、議事録署名人に石嶋勇常任理事、橋本幸雄常任理事を選出し議事に入りました。

■行政報告：令和2年度政府予算（案）について／井上睦子・文部科学省高等教育局私学部私学助成課長と、森友浩史・文部科学省初等中等教育局幼児教育課長にお越しいただき、令和2年度政府予算（案）についてご報告いただきました。

その後、岩田知也・全日本私立幼稚園連合会専務理事より私学助成の財政措置のしくみについて説明がありました。

■審議案件1：令和元年度補正予算案について／坪井久也総務委員長より資料をもとに説明が行われ、審議の結果賛成多数により承認されました。

■審議案件2：令和2年度事業計画案について／各委員長より説明があり、審議の結果、承認されました。

■審議案件3：令和2年度収支予算案について／坪井総務委員長より資料をもとに説明が行われ、審議の結果賛成多数により承認されました。

■審議案件4：委員会委員の変更について／坪井総務委員長より、教育研究委員1名の変更願が提出されている旨の説明が行われ、審議の結果、承認されました。

■協議案件：幼児教育無償化について／坪井総務委員長と水谷豊三政策委員長より資料をもとに説明がおこなわれました。

■報告案件：会務運営報告について／各委員会委員長、プロジェクト座長から報告がありました。

■（公財）全 日 私 幼 研究 機 構 か ら の 報 告 ／ 東 重 満 ・（公財）全 日 本 私 立 幼 稚 園 幼 児 教 育 研 究 機 構 理 事 長 よ り 、財団の会務執行状況についてご報告がありました。

■その他：人口減少時代の私立幼稚園2040検討プロジェクトについて、田中雅道副会長より説明がありました。

最後に、尾上正史副会長の閉会の言葉で終了しました。

（総務委員長・坪井久也）

### （株）学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8  
幼児教育事業部

お問い合わせは 0120-833-415

#### 園ぴゅう太のメールサービス

■ サーバー二重化！

らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！  
組別・個別送信、既読確認もできます。  
サーバー二重化で、いざという時も安心です。

スマホでらくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！  
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。  
タップするだけでメール送信できます。



ぜ～んぶ学研に  
おまかせ!!

心機一転！  
リニューアル

オリジナル！  
キャラクター  
ロゴ

Flashで  
動画！

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新  
もお電話・FAXで対応します。

「お知らせ更新は園で…」というご要望にも  
システム併用でご対応いたします。

●2.19

## 第9回後継者育成研修会が開催される

2月19日、東京・東京ガーデンパレスにおいて、私立幼稚園・認定こども園の次代を担う園長先生や後継者の先生方を対象とした「第9回後継者育成研修会」が開催され、全国から75名の先生方が参加しました。はじめに、小澤俊通全日私幼連副会長より開会のあいさつが述べられた後、内野光裕経営研究委員長の概要説明が行われました。研修会の主な内容は下記のとおりです。

- ワークショップ／「働き方改革と人材確保について」をテーマに、各グループにわかつて話し合いが行われ、活発な意見交換がなされました。
- 講演／「園で起きた事例から就業規則関連諸規程例を読み解く」  
講師：高橋道枝・杜の都労働コンサルタンツ共同代表



### ●行政報告／「幼児教育の現状と課題」

講師：森友浩史・文部科学省初等中等教育局幼児教育課長

●2.20

## 幼稚園ナビ担当者会議が開催される

2月20日、東京・アルカディア市ヶ谷にて幼稚園ナビ（人材確保支援アプリ）担当者会議が開催されました。全日私幼連の経営研究委員会では、文部科学省が実施する「幼稚園の人材確保支援事業」の委託を受け、求人アプリである幼稚園ナビの制作事業を平成29年度より行っています。今年度新たに加わる機能を周知するため、各都道府県団体事務局より担当者72名にご参加いただきました。

小澤俊通全日私幼連副会長のあいさつで開会した後、新規機能の具体的な説明および加盟園向けアンケートの実施方法について、アプリ制作会社である株式会社ブラテックの岩崎正明代表取締役社長にお話しいただきました。その後は「幼稚園ナビを普及させるために」として、福岡県と神奈川県の代表者



より取組報告がおこなわれ、内野光裕全日私幼連経営研究委員長のあいさつで閉会しました。

## 令和元年度 認定こども園 「教育・保育 質の向上」全国研修会 ～幼児教育・保育の無償化を迎えた今、考えるべき課題と展望～



▲開会式



▲研修①岩岡寛人・文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官

「令和元年度認定こども園『教育・保育 質の向上』全国研修会 ～幼児教育・保育の無償化を迎えた今、考えるべき課題と展望～」が、令和2年1月28日(火)兵庫・ANAクラウンプラザホテル神戸において、約230名の参加者のもと、盛大に開催されました。

まず安達譲全日私幼連副会長より、私たちが今どこにいるのかを把握し、理想を忘れずに現実と向き合い、何のための幼児教育・保育の無償化なのかとともに考え深める日にしましょうとご挨拶いただきました。続いて濱名浩認定こども園委員長から、新制度見直しに向けた子ども・子育て会議における全日の活動についての報告と本日の研修会の概要について説明がありました。

【研修①】「ポスト無償化の認定こども園の在り方を考える」と題して、岩岡寛人・文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官より、①幼児教育無償化に係る最近のトピック、②社会環境の変化とこれからの保育、③新制度の5年後見直しについての内容で、お話しいただきました。

①では、新2号や2号認定が増えている課題に対し、自園の教育コンセプトとそれを実現するための体制を見える化し保護者に明確に説明することの重

要性を述べられ、その上で、体制を維持できる範囲で2号の利用定員を考えること、また、園だけで責任を抱えずに、柔軟に対応していくことを提案されました。さらに、無償化後の支給認定こどもの数の推移や支払い方式について分析し、必要に応じて修正を行っていきたいと考えていること、そのためには各自治体のやり方を集約していただいてご意見をお寄せいただきたいと述べられました。

②では、無償化が幼稚園に与える経営環境へのインパクトはどのようなものか、これからどのような変化の中で、どういう保育を目指していくと良いのかの共通認識をはかるため、少子化によるマーケットの縮小や消費者の思考の変化、女性の就業率の上昇傾向など、市場環境の変化について説明されました。さらに、子ども達が直面する変化についても述べられ、VUCAの時代を生き抜く主体的な子ども達の育成の必要性を丁寧に説明されました。

③では、新制度後、現場で生じている課題・疑問に丁寧に対応していくこと、公定価格の水準全体の切り上げ・切り下げは行わないこと、過剰に措置されている部分を適正化し、その財源を用いて教育・保育の質の向上につながるような取組への支援を加速していく方針について、具体的に説明されました。



▲研修②野澤祥子・東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター准教授

【研修②】「認定こども園の教育・保育の質と家庭教育」と題して、野澤祥子・東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター准教授より、乳幼児期の教育について、乳幼児期の学びを支える園と家庭のあり方についてお話しいただきました。要領に立ち返ることの重要性、乳幼児期と小学校以降の学びのあり方の違いを、いかに保護者や地域や小学校の先生と共有していくのかという課題に向き合うために、乳幼児期の具体的な学び育つ姿の最新の事例を説明されました。また、園が家庭とどのように安全で安心できる環境、豊かに遊べる環境を作っていくのかという課題に対して、子育ての喜びを分かち合う重要性を述べられました。

【研修③第一部】「令和元年度経営実態調査より、新制度園部分の調査結果と報告」と題して、全日私幼連認定こども園委員会委員の鮎川剛、安本照正よ



▲研修③「無償化を迎えての課題と展望」より濱名浩・認定こども園委員会委員長

り、より堅実な経営のための分析を含めた具体的な数字の報告及び、具体的な提案がなされました。

【研修③第二部】「無償化を迎えての課題と展望」と題して、同専門委員の森迫建博より、無償化による長時間保育児の増加が回避できた要因について、同副委員長の濱川喜亘より、預かり保育の「施設等利用費」の請求事務の簡素化について、同委員の安本照正より、満3歳児の受け入れ対応について、同委員長の濱名浩より総括及び、幼児教育・保育の無償化を契機に改めて預かり保育を考えるとして、預かり保育の充実と質の向上を願った具体的な実践を提案し、研修会を締めくくりました。

(全日私幼連認定こども園委員会委員、福井県福井市・みどりこども園／松原直俊)

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

# 月刊 保育とカリキュラム

毎月2日 発売

ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表  
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

# 公益財団法人全日本私立幼稚園児童教育研究機構

## ECEQ コーディネーター養成講座Ⅲ 2都市で開催

2月14日 大阪・私学会館  
2月20日 東京・私学会館

(公財)全日本私立幼稚園児童教育研究機構主催の「ECEQ コーディネーター養成講座Ⅲ」が大阪と東京の2都市で開催され、全国からそれぞれ70名、48名が受講しました。本講座は6月に開催したECEQ コーディネーター養成講座に続き、まとめの講座となっており、養成講座の受講要件である自園での公開保育実施に向けての説明が行われました。

初めに、東重満(公財)全日本私幼研究機構理事長より開会のあいさつがありました。

講座の概要は次の通りです。

### ○講義1：提出課題から体験の分かち合い

講師：(公財)全日本私幼研究機構研究研修委員会協力委員 平林 祥(大阪会場)

(公財)全日本私幼研究機構研究研修委員会協力委員 秦 賢志(東京会場)

### ○講義2：STEP4について

講師：(公財)全日本私幼研究機構研究研修委員会専門委員 岡本 潤子



▲講義1「提出課題から体験の分かち合い」の様子

### ○講義3：STEP5・STEP6について

講師：大妻女子大学家政学部児童学科教授 岡 健(東京会場は都合により映像講義)

最後に、今後のスケジュールを確認し、閉会となりました。



## 保育ナビ Web ライブライ スタートしました！

お好きな時間に、お好きな場所で、スマートフォン、タブレット等で  
『保育ナビ』電子版(PDF)をお読みいただけるサービスです。

※端末用アプリ BookLooperをダウンロードしてご利用いただけます

ご契約コースのご案内 ※詳しくはそれぞれの2次元コードから！

〔弊社営業所と直接お取り引きのあるお客様用〕

### 直販ご購読コース

#### ①同時購入セット

紙版と電子版がセットになったお得なコースです。

#### ②2020年度『保育ナビ』電子版(PDF)

電子版のみの年間契約コースです。

詳細は右のコードを読み取り、ご確認ください。



〔一般のお客様用〕

### オンラインショップご購読コース

2020年度『保育ナビ』電子版(PDF)の年間契約コースは、公式オンラインショップ「つばめのおうち」からご購入いただけます。

※2021年1月末まで受付予定

※紙版とのセットはございません

詳細は右のコードを読み取り、ご確認ください。





# 第11回ようちえん絵本大賞

～新しい絵本を見つけよう～

大賞  
15冊が決定

第11回ようちえん絵本大賞は、“子どもに読み聞かせたい絵本”、“お父さん・お母さんに読んではほしい・お勧めしたい絵本”、“まだ多くには知られていない素晴らしい絵本”を選考の基準として、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・調査広報委員会が過去おおむね8年以内に出版された絵本の中から選考を行いました。その結果、特別賞5作品を含む15冊が絵本大賞に選ばれました。

調査広報委員一同、これからも子どもたちと絵本との出会いの一助となるよう努めてまいります。なお、参考までに調査広報委員会が絵本の紹介文を記載させていただきました。

## 第11回ようちえん絵本大賞 受賞一覧

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
<b>(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理 事 長 賞</b> <b>みんなのおすし</b> はらぺこめがね (作) ポプラ社	<p>「おいしそう」、「たべたーい」、「いいなー」、「えっ、こわーい」・・・。ページをめくるごとに子どもたちの大歓声。ラストのページをめくると、「????」のあとに、消え入りそうな「ひえ～」の声。さてさてどんなお話でしょう？「食べ物と人」をテーマに活動している若手ユニット“はらぺこめがね”的最新作。子どもから大人まで、だれもが楽しめる「笑顔、驚き＆ちょい怖い」を引き出してくれるおすすめの作品です。</p>
<b>特 別 賞</b> <b>調査広報委員長賞</b> <b>そらからきたこいし</b> しおたにまみこ (作・絵) 偕成社	<p>ある夜のこと、主人公ハナが外をながめいたら、小さな石を見つけました。手の上で浮かんでいます。不思議に思いビンに入れて大切にしていました。ハナは一生懸命いろいろと図鑑で調べてみます。でも、同じ石はありません。するとまた石が空から落ちてきました。そして前の石にぴったりくっついて大きくなり、高く浮かぶようになりました。しだいに青く光りはじめ、ハナをやさしく照らします。ベッドの下に押しこんでおきますがベッドも少し浮くくらいに大きくなりました。毎日大切に磨いているとハナの大切な石がある日、海辺の方に飛んでいってしまいます。高く そして遠くへ・・・ハナの純粋でやさしい心が美しい絵からも伝わってきます。</p>
<b>調査広報委員長賞</b> <b>ぼくたちは みんな 旅をする</b> ローラ・ノウルズ (著) ク里斯・マッデン (絵) 石川直樹 (訳) 講談社	<p>「この本でてくる話はすべてほんとうです」という最初の一文にどきどき。今から冒険に出かけるような気分でページをめくることができます。優しい色合いで繰り広げられる動物たちの壮大な世界観。そこにいる動物たちは旅の大切さを生まれた瞬間から本能的に知っているとか。もちろん、私たち人間も。信じられないほどの長い距離を移動しながら生きる動物たちのことが分かると、空を飛んでいる鳥たちでさえ、愛しく見えます。</p>
<b>こどもがまんなかPROJECT賞 の</b> junaida (作) 福音館書店	<p>題名は「の」、作者は「じゅないだ」。美しい表紙の魅力に引き込まれ、「いったい何？」と、不思議な気持ちで手にした絵本の中には、「の」の織り成す奇想天外な世界が広がっていました。頁を繰るごとに現れるのは、ちっとも繋がりのない景色ですが、「の」の不思議と絵の力が物語を紡いでいきます。</p> <p>「わたしの」で始まり巡り巡って最後のページの言葉は「わたし」。「の」を繋げて最初に戻ると、終わりのない不思議な物語です。</p>
<b>こどもがまんなかPROJECT賞</b> <b>ほら、ここにいるよ</b> オリヴァー・ジェファーズ (作) tupera tupera (訳) ほるぷ出版	<p>この絵本は、作者オリヴァー・ジェファーズが、誕生した息子に、この世界のすばらしさや不思議なこと、生きていくために大切なことを伝えようと作られました。まず、宇宙から見た地球を説明し、次に地球の成り立ち、そして我々人間の体の説明へと進んでいきます。さらに、地球には多種多様な人間がともに生活していること、いろいろな動物とも一緒に暮らしていること。みんなが認め合い、希望を持って生きていこうというメッセージです。</p>

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
<b>とんでいった ふうせんは</b> ジェシー・オリベロス（文） ダナ・ウルエコッテ（絵） 落合恵子（訳） 絵本塾出版	<p>この作品は思い出や記憶を風船として描いています。ぼくは、おじいちゃんの思い出を聞くのが大好きです。でもおじいちゃんはだんだん同じ話を繰り返すようになり、風船が一つずつ飛んで行ってしまいます。おじいちゃんは認知症になってしまいました。はじめぼくはそのことを理解できず、受け入れることができませんでした。しかし、パパとママが優しく教えてくれたので、また、おじいちゃんとの暮らしが返ってきました。</p>
<b>わすれもの</b> 豊福まきこ（作） B L出版	<p>ベンチの上に忘れられた羊のぬいぐるみが主人公です。羊のぬいぐるみは、もちろんベンチから動くことができないのですが、ベンチの前を行き交う人や動物たちの交流がこの物語の素敵なお話になっています。羊のぬいぐるみは自分で動けませんから、怖いものからも逃げることができませんが、必ずそこに助けてくれる誰かがいてくれるところが、このストーリーの感動的なところです。そして、最後はどんなストーリーで終わるのかは、お読みになってのお楽しみ。</p>
<b>はじめまして</b> 近藤薰美子（作・絵） 偕成社	<p>この絵本で1番感動的なのは、四季折々の自然界的風景を色鉛筆であざやかに丁寧に描かれており、本当にリアルな表現が美しくまたほのぼのとした温かさを感じさせてくれます。加えて文章が絵とマッチングしていて、動物や植物たちの季節ごとの触れ合いが温かく表現されています。そして、その表現が主観的な表現ではなく客観的な表現で端的に表現されているところがこの作品の読みやすさでもありわかりやすい点です。みなさんも色鉛筆で描かれた絵本の世界に飛び込んでみてはいかがですか。</p>
<b>かいちゅうでんとう</b> みやこしあきこ（作） 福音館書店	<p>暗闇って本当は怖いのだけど、違った空間にいるみたいで、実際に魅力的と思いませんか。押し入れの中や、寝る前、電気を消した瞬間の暗闇。その暗闇を懐中電灯で照らすことで、見事に表現した一冊です。懐中電灯に照らされた小さな明かりと、暗闇のコントラストが絵本の世界の素晴らしさを表現しています。主役は懐中電灯だけれど、本当は暗闇が主役？幼いころ、影絵を楽しんだことなどを思い出し、ノスタルジックな気分に浸れます。</p>
<b>うし</b> 内田麟太郎（詩） 高畠純（絵） アリス館	<p>この絵本には牛しか登場しません。でも、子ども達には、きっと大受けすることでしょう。          「牛がうしろをふりかえったら、牛がいた。そのうしろの牛もうしろをふりかえったら牛がいた。その牛がふりかえったら牛が…」。そして最後には数えきれないほどの牛が描かれています。当園の子ども達は、大爆笑しました！</p>
<b>まめまめくん</b> デヴィッド・カリ（文） セバスチャン・ムーラン（絵） ふしみみさを（訳） あすなろ書房	<p>皆と違い小さい主人公は、明るく何でも一生懸命に挑戦して出来るようになる頑張る子です。しかし小学校になって初めて皆と違い小さいことが不利であることに気づきます。皆と遊べないしいつも一人。でも好きなお絵描きを一生懸命やったことで、小さくとも大人になって立派な仕事につけたという物語です。皆と違うことを感じて引っ込み思案になっている子への希望の絵本。繊細な絵がとても素敵です。</p>
<b>なまえのないねこ</b> 竹下文子（文） 町田尚子（絵） 小峰書店	<p>名前のない猫は名前のある猫たちを羨ましく思い、自分の名前をさがし回ります。でも、自分にぴったりな名前はなかなか見つかりません。そして、欲しかったのは名前ではなかったということに気付くのでした。          本の表紙の見開きにはたくさんの猫たち。主人公である名前のない猫もいます。そして、裏表紙の見開きではその猫たちの名前が紹介されているのですが、果たして、名前のない猫に名前はあるのでしょうか？</p>

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
<b>でんせつのじゃんけんバトル</b> ドリュー・デイウォルト(著) アダム・レックス(絵) 中川ひろたか(訳) 河出書房新社	<p>誰でも知っている「ジャンケン」のお話です。勝つこともあるけれど、決して敵わないこともあるという物語。至極当然のお話ですが、そこに繰り広げられる壮絶な勝負は何とも魅力的です。戦いごっこの大好きな子どもたち、必見です！</p>
<b>蜜蜂さん ありがとう</b> 野田章子(著) さいとうじゅん(絵) 朝日学生新聞社	<p>作者野田章子さんは90歳を超えて今は老人ホームで過ごされています。日々、ホームの仲間が元気に仲良く過ごせるには何が大切か考えている中で、「話すこと、笑うこと」が一番の元気の源とお話なさっています。・・・それをテーマに初めての絵本製作に取り組まれたそうです。四季を通しての蜜蜂と自然の営みと人とのかかわりが、やさしく伝わってきます。「そよ風そよそよいい香り おはようさん おいしい蜜をさあどうぞ。小さな力も集まれば大きくなるね。明るく楽しく励ましあおう。みんな同じお山の生き物さ 命をつなぐ仲間だよ。」小さい蜜蜂が野山で元気に働く姿に忘れていた何かに気づかされます。さいとうじゅん先生の明るい絵にもほっこりいたします。</p>
<b>ぽちっと あかい おともだち</b> コーリン・アーヴェリス(文) フィオーナ・ウッドコック(絵) 福本友美子(訳) 少年写真新聞社	<p>一面の氷、雪が降りしきる中、ママの魚捕りに飽きてきたホッキョクグマのミキくん。「何か面白いことはないかな」としばらく歩いていくと、遙か向こうにポツンと赤いものを見つけます。「なんだろう?」と、ミキは一目散に走って近づきます。その「ぽちっとあかいもの」は人間の女の子だったのです。お互い初めて見る「生き物」どうし、天真爛漫に楽しいひとときを過ごします。そこから生まれる友情と、最後にホッとあたたかい親子の愛情に、心和む絵本です。</p>



遊具:HOUSE

## 未来は、あそびの中に。

偉大なる発明も、世界を変えた公式も、  
 あそびから生まれた。  
 あそびは、すべての創造の源です。  
 あそぶ力を伸ばすことは、未来を切り拓くこと。  
 創造力をのばす。共感力をはぐくむ。ルールをまなぶ。  
 あそびから、こどもは無限の力を羽ばたかせていく。  
 あそびの環境に、あざやかな驚きを。  
 私たちは、未来をつくる仕事です。



JAKUETS



## ～年間連載 教育・保育の質を向上させるために②～

2020年3月号から2021年2月号にわたり神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授の北野幸子氏による「誕生からの育ちを支える保育者の専門性」を連載で掲載いたします。2019年10月から開始された幼児教育・保育の無償化によって、より一層教育の質の向上が求められている今、改めて人間が生まれてからの育ちについて理解を深め、日々の保育の参考にしてみてください。

# 誕生からの育ちを支える保育者の専門性（2）

神戸大学大学院人間発達環境学研究科  
准教授 北野 幸子

2017年度より、経済産業省に設置されている『「未来の教室」とEdTech研究会』([https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/mirai\\_kyoshitsu/index.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/mirai_kyoshitsu/index.html))の委員をさせていただいている。私は、高校時代まではどちらかというと理系科目が好きで、現在もICTなど新しい技術に大変興味がありますが、しかし、経済学も工学も全くの素人です。18歳から乳幼児教育・保育学を専門として勉強してきたので、お声がかかった時は、正直驚きました。しかしその背景として、乳幼児教育・保育学において大切にしている原理と教育方法が、これからの時代を生きる子どもたちに育みたい、生きる力の育成に不可欠であるということが、産業界にも認識されつつあるのだということが分かりました。また、乳幼児期に適した方法による

質の高い教育がすべての子どもたちに保証されることは、少子化社会で数少なくなってきた子どもたちの個々の力が發揮されるために、社会においても期待されていることが分かりました。

実際、2018年12月ブエノスアイレスで開催されたG20、すなわち各の首脳会議では、国境を越えて重点的に大切にすべき政策課題の一つに、乳幼児期の発達への支援があげられました。持続可能な社会の形成や、世界の平和と発展のために、国境を越えて取り組むべき重点政策課題に、保育が取り上げられたことは初めてです。各国の保育界の友人が歓喜にあふれました。実際に示されたアジェンダ14では、子どもの権利として保育を保証することが可能となるように、行政的・経済的支援を行うことと、保育の質を保証するための支援を行うことが

保育力の向上のために 資質向上の取組の証明に

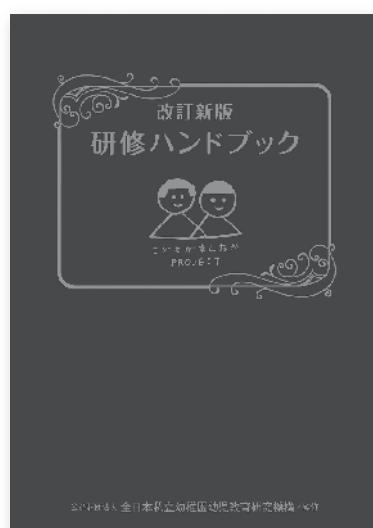
キャリアパスや免許更新のために  
研修の記録を大切に残しておきましょう！

監修 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

**改訂新版 研修ハンドブック**  
4145301 本体600円+税

●B6判  
●112ページ

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。  
株式会社 世界文化社 ワンダーCS事業本部  
TEL03-3262-5128



明示されました。

前者について大切にしたいことは、乳幼児期の教育が、保護者の就労支援、つまり、家庭教育の代替・子守としてのみではなく、その時期に適した教育の保障という権利の概念として位置付けられていることです。実際、世界各国で、幼児教育への公的資金の投与が拡大しています。無償化や義務教育化も進められており、就園率も高まっています（例：2018年 OECD 調査では、多くの国でこの10年で3-5歳児の就園率が10ポイント上昇。）G20をはじめ、各国調査では、持続可能な社会の発展の観点からも、格差是正の観点からも、誕生からの発達の支援が大切であるとされています。

後者については、保育の質、つまり保育専門職による保育独自の専門性に基づく教育であるのか、が問われています。先月とりあげたとおり、個人差が大きいこの時期には、育ちの過程を大切に、結果主義ではなく、一人ひとりを大切にした教育が、乳幼児期の教育の基本とされています。また、誕生時からの愛着の形成と基本的信頼感の育ちが基盤となり、そこから育ちが積み重ねられていくことも乳幼児期の教育の基本とされています。保育は、子どもの心が基盤となり、子ども自身の主体性を尊重した、環境を通した教育であり、心情・意欲・態度の育ちを大切にする教育です。要領や指針を読めばその点は明白です。子どもの安心や、情緒の安定こそが、人やモノへの関心を可能とし、広げます。その人格形成の基礎を培うのが乳幼児教育です。

次世代を生きる子どもたちの社会では、ますます国際化、情報化、人工知能化が進むことが予測されています。経済産業省の『「未来の教室」と EdTech 研究会』でも、個別最適化の教育が推奨されています。ここでいう、個別最適化とは、単なる個人差への応用という消極的なものではなく、より積極的に個性を重視し、それに応じるということです。おそらく経済成長の時期に展開した、これまでの教育においては、多くの子どもたちの底力をはぐくむことや、苦手部分を克服することが目指されてきたと思います。しかし、これからは、個々人の個性に応じて、得意分野の伸長を支えることが望まれています。

「キー・コンピテンシー」や「21世紀型スキル」といわれる生きる力の基礎の育成が、各国で議論されていますが、日本でも「Society5.0」や『「未来の教室」と EdTech 研究会』等の提言の、いずれにおいても、生涯にわたる人格形成の基礎を培う乳幼児期の教育の重要性が指摘されています。劇的に想像を超えて変容するであろう、未来の社会を生き抜く、心の芯をはぐくむことが保育専門職に期待されているのです。

#### 参考資料・文献

G20 ブエノスアイレス首脳宣言（2018）（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000424876.pdf>）  
国立教育政策研究所編（2020）「幼児教育・保育の国際比較：OECD 国際幼児教育・保育従事者調査 2018 報告書一質の高い幼児教育・保育に向けて」. 明石書店

# 写真販売システム

園で撮った行事や日常の写真を  
保護者の皆さまがパソコンやスマホで  
簡単に購入できるシステムです。

丁寧な充実サポート！ 操作が簡単！  
手間をかけずに効率アップ！

先生の手順

- 写真を撮る
- 写真をアップする
- 保護者に案内する

保護者の手順

- 利用登録する
- 写真を選ぶ・買う
- 買った写真が届く

開発・販売 株式会社 チャイルド社 インターネット課  
〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11 TEL 03-5370-7497  
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

## 3歳児の保育に見る10の姿の芽生え

～写真を生かした記録から～

柳原希未・山口舞・日下部弘美（日本女子大学附属豊明幼稚園）・請川滋大（日本女子大学）

### 【はじめに】（請川）

日本女子大学附属豊明幼稚園の園内研に関わって4年目となる。その間、他園の実践などを参考にしながら、豊明幼稚園の実践がより良いものになるよう意識をして園内研を進めてきたつもりである。2017年、本学会の第8回大会（於：札幌大谷大学短期大学部）において「保育実践に生かすドキュメンテーション」として研究発表を行った。ドキュメンテーション作成を始めて2年目の年だったが、ドキュメンテーション作成を通して見落としがちであった子どもの生き生きとした姿が見えてきた半面、一方では写真の処理をどうするか、どういった場面を取り上げたらよいかなど新たな課題も見えてきた研究であった。その際、フロアから「どうやってドキュメンテーションを作成する時間を捻出しているのか」などの質問があり、それは現在の「ノンコンタクト・タイムの確保」という保育業界全体に関わる大きな問題であるということを改めて気づかされた。

今年の発表では、本園で「日の記録」と呼ぶ毎日の記録として作成されるドキュメンテーションについて触れ、それらをどのように作成し、どう活用しているのか山口教諭が報告する。同じ学年を担当する担任同士が「日の記録」を通して語りを進めているが、具体的なエピソードを通した記録があるからこそ生まれる語りがあることが分かる。さらに、2017年の幼稚園教育要領改訂で示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）が「日の記録」の中でどう見られたかについて、柳原教諭より報告したい。3歳児の姿を「10の姿」で捉えるのは難しい側面もあるが、しかし3歳児でもしっかりとその芽と見られるようなやりとりをしている様子が垣間見える。まだ研究の途上であるが、ぜひ多くの方々からご意見を頂ければと考えている。

### 【日本女子大学附属豊明幼稚園について】（日下部）

本園は「遊びを中心とした保育」「感性をはぐくむ保育」を大切にし、創立110周年を迎えた。幼稚園教育要領の改訂に伴い、一貫教育の始まりである園として、創立者が提唱した3綱領を伝統として受け継ぎながらも、いかに新しい流れを取り入れていくか模索している。

2016年度から保育の振り返りとしてドキュメンテーションを導入したことにより、幼稚園内に語り合える風土が徐々に培われてきており、対話を通して子どもの育ちのみどりに深まりが出てきている。今回は日々の営みから見えてきたことをお話ししたい。

### 【記録を通して生まれる保育者間の語り合い】（山口）

#### ＜日の記録の作成＞

##### ・日の記録としてのドキュメンテーション

日の記録として、1日につきA4で1枚ドキュメンテーションを作成している。エピソードのみならず、子どもの育ち、今後の展開の予想、明日の援助を省察するようにしている。それらの過程の中で、自分の思考が整理されるとともに、子どもの興味に気づいたり、遊びの連続性も見えたりしていった。常に教育課程や「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」等にも立ち返るよう心掛けている。

##### ・2人担任で作成する日の記録

日の記録としてのドキュメンテーションを作り始めて以降、初めて2人担任となった。そのため、1人ではなく2人で作るドキュメンテーションの形を探っていくことになった。

初めはA4で1人1枚ずつ作成していたが、時間が掛かってしまった。時間を短縮できるよう、担任間で日の振り返りを話し合った後、1人が作成を行うようにした。もしくは1枚の中でそれが関わった部分を書き、2人で1枚を作成するようにした。このような方法で、記録を作りながらも他の仕事が進めていくようにしていった。

##### ・日の記録の活用

日の記録で作成したドキュメンテーションの内容は、週案、保護者向けの掲示としてのドキュメンテーション、個人のポートフォリオにも生かせる部分があれば活用していくようにした。

#### ＜日の記録から生まれる語り合い＞

##### ・保育者間での情報共有ツール

日の記録により、担任間での語り合いが増えた。また、クラスで作成した記録は翌日の保育が始まる前に、学年間でも見合うようにした。担任間（2人）だけでなく、学年間（6人）でも共有して、感じたことや気づいたことを伝え合うようにしていった。

##### ・翌日の保育に生かす視点

保育者間の話し合いで、情報を共有しながら育ちに着目し、翌日の保育に生かせることを中心に行うよう心掛けた。そのため他者にも伝わりやすいように、文章が多すぎたり、その日見聞きしたこと全てを載せたりするのではなく、整理して作成するようにしていった。また、遊びの様子と育ちを書いた上で、翌日以降の保育をどのように展開しようと考えているのかという「NEXT」をわかりやすく括りだすようにした。記録を見合う中で具体的な場の作り方や教材の準備など、環境構成を提案し合ったり、一人では気づかなかつたような視点や発想が生まれたりすることに繋がっていたと感じられる。

## 【記録からみる幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の芽生え】（柳原）

### ＜事例1 型抜きに挑戦（3歳児クラス9月）＞

新しい型抜きに興味津々のA児。乾いた砂を入れるとさらさらと零れ落ちてしまう。入れては零れ落ち崩れることを繰り返していた。



翌日は、前日の雨で砂が湿っていたことが功を奏し、砂をきゅきゅっと力強く詰めていくときれいに型抜きができた。それを伝えようと保育者を呼びに来ていた。その後何日も続けて挑戦する中で、自分なりに力を入れて砂を詰めていくとよいということに気づいていった。「こうやってやるんだよ」と友だちにコツを伝えようとしていた。

【考察】モノと対話するA児の姿からは『自立心』や『自然とのかかわり』、『思考力の芽生え』を感じた。また友だちに『言葉で伝えよう』とし、遊びが広がっていった。このような姿は10の姿につながるものではないか、3歳児からその姿の芽生えが始まっているのではないか、この事例を通して気づき、その後の子どもたちへのかかわりや子どもの姿の読み取りへもつながっていった。

### ＜事例2 砂場で山作り（3歳児クラス11月）＞

1日目 B児たちが始めた山作り。C児は「水をかけた方が硬くなる」と言ったことで、水をかけながら山を作り始める。



2日目 翌日は水をかけ叩いて固める中で、D児が足で踏みつけ崩れる場面もあった。B児が怒るが、固める為だとわかると一緒に作り進める。

3日目 年長児が硬くなる方法として白砂をかけに来る。落ち葉で飾り付けや水で模様付けを始める。水で模様を描くがしばらくすると消えてしまうことに気づき、途中でやめる姿も見られた。

4日目 白砂を自分たちでもかけ始め、水と交互に固めていた。声を掛け合い、バケツがなくその中で一番大きいと思われる容器を探し運んでいた。隣で年中組が小さな山にトンネルを開けているのを見て、トンネル作りが始まった。

5日目 3方向から掘り進め開通する。

6日目 トンネルが崩れてしまう。原因を考える子どもたち。前回の経験から土台を丈夫にしようと、下から踏み固める姿が見られた。

【考察】事例2からみる10の姿の芽生え

#### ・自立心

自分で考え行動する姿が見られている。友だちの刺激を受け参加している子どももいる。その中で自分が山を作る中でどのようなことをしたらよいか考え取り組んでいた。

#### ・自然とのかかわり

砂と触れ合う中で、その感触を楽しむだけではなく、水や砂の性質も感じながら遊んでいる。山が硬くなる様子、水が吸い込まれる様子や乾く様

子を、遊びが続く中で体感していた。

#### ・思考力の芽生え

高くするにはどうしたらよいか、初めはひたすらに砂をかけるだけであったが、その途中で様々な材料や方法を友だちや異年齢のかかわりを通して、学び実践していった。

#### ・言葉による伝え合い

メンバーは入れ替わるが、言葉で伝え合うことで、遊びや様々な方法が続いていった。急に水をかける、足で踏むことで初めは誤解を生みトラブルにも発展しかねたが、山を高くするためやっていることを伝え合いながら遊びを進めようとしていた。うまく伝えられない時には保育者が促していったが、話を聞き相手を受け入れることで、遊びが続いていき、協同性にもつながっていった。

#### ・協同性

山を高くするという共通の目的が明確であったことや、実際に高くなってきた実感が伴い、一緒に行う意欲へと結びついた。1学期の経験を生かし、水を運んだり、山を固めたりと役割分担し始める。その場の雰囲気を感じ自然と役割を決める子どもや声をかけて手伝いを求める子どもも見られた。

#### ・数量への関心・感覚

砂場では多くの子どもが遊んでおり、道具がないこともある。その時に小さなカップで運んでいる友だちを見て、それよりも大きい漏斗を選んだB児。穴は手で押さえながら水を運んでいた。



#### ・豊かな感性と表現

落ち葉で飾ったり、丸い円で跡を付け模様にしたり、高くするだけではなく、きれいに見せたいということから飾り付けをしていた。水で模様を付ける中でその面白さやはかなさを感じていた。

#### ＜3歳児の姿と保育者のかかわりについて＞

10の姿の芽生えが上記の事例から見られた。またこれらの要素は互いに影響しつつ、つながっていることにも改めて気づいた。

事例1をきっかけに保育者は子どもたちの気づきや試行錯誤を大切にしたいと思い、待つことを心掛けた。すると面白い発見や子どもなりに考えている姿に出会った。3歳児は言葉でうまく伝えられない分、その姿から保育者が見とりながら、うまくいかないことが続いた際には、気持ちを支えることが必要である。どこまで待つかは時期や個々に応じて異なり難しいが、そのような保育者のかかわりも子どもたちの育ちに必要なことであると感じた。

また、その際に5歳児になってから幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識するのではなく3歳児からその姿に気づき、保育をしていきたいと考える。このような気づきにいたったのも、教員間の語り合いを大切にしてきたからである。対話することで、皆で個々の育ちを共有し、一人ひとりを温かいまなざしで見守っていった。このような語り合いの機会を今後も大切にしていきたい。

## 子どもも保護者も先生も うきうき わくわく 楽しい運動会 —忍者学校—

○発表者…鈴木さつき（内藤秀己、三浦麻椰、岩下桃子）（林丘幼稚園）

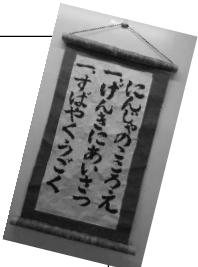
毎年、職員全員でテーマを考え、夏休み前後から始まるストーリー。そのストーリーに、子ども、保護者、先生が入り込み、ストーリーの登場人物になって楽しんでいく。ストーリーの結末には保護者も参加、ストーリーの結末を迎える時、その時が林丘幼稚園の運動会です。今まで『はらぺこあおむし』『オリンピック』『誕生日パーティー』『サーカス』『宝箱』『仙人』など、色々なテーマで行ってきました。平成30年度のテーマは『忍者』。子どもたちがうきうきわくわく運動会に向かっていく姿をまとめました。

### — さあ、みなさんも忍者の世界へ！！ —



#### 忍者学校開校

夏休み中に修行を重ね、忍者になった先生たちを見て  
「忍者学校って何？」  
「入りたい！」  
「どうやったら忍者になれるの？」  
園長「忍者試験に合格しないと  
入れないよ！」…ここから、子どもたちの忍者修行が始まった。



#### 忍者学校入学

忍者学校に入学するため、子どもたちは必死に修行！忍者の心得を胸に、入学試験を受ける子どもたち。

忍者学校長(園長)「よし、合格！入学の印に忍者バッジをあげよう！」

「やった～！！！」

1人2人…と忍者学校入学者が増えていく。

忍者の卵たちの修行はまだまだ続く…。



#### 一人前忍者になるために…

『石の術(体操座り)』『忍びの術(静かにする)』『整えの術(まっすぐに並ぶ)』『瞬足の術(素早く動く)』などの基本の術の他にも、忍者になるためにはたくさんの術を習得しなければならない。『一本橋の術』『心をひとつにせよ！』『踊りの術』などの追加指令が巻物で届く。子どもたちは一人前忍者になるため、術を習得することに懸命になっていた。そして、術を習得する度に忍者バッジの色も変わっていき、忍者アイテムも増えていった。運動が苦手な子も、忍者の世界に入り込み“ちょっと頑張ってみよう”という様子が伺えた。



【一本橋の術】

#### 【忍者アイテム】



【踊りの術】



【案山子の術】



【瞬足の術】





### 忍者試験日(リハーサル)

忍者試験日(一人前忍者の試験)と題し、リハーサルを行う。



保育者「〇〇組忍者！」子「はっ！」ササササッと真っ直ぐに並ぶ、一人ひとりが十分に力を発揮し、時に真剣に、時にキラキラと目を輝かせ術を披露していった。

校長の判定は…「みんな合格！一人前忍者になれたので、校長からみんなへ忍者Tシャツをプレゼントするね！」

「やった～！これで一人前忍者だ～！！」「嬉しいー！」

「できるようになった術をママに見せたい！」

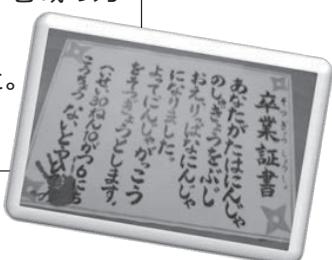
「じゃあ、見てもらおうよ！」

ということで、『おひろめ会～忍者の術、見せるでござるの巻～』(運動会)を行うことになった。



### 『おひろめ会～忍者の術、見せるでござるの巻～』(運動会)

おひろめ会当日、早く術を見せたいとわくわくして登園する子どもたちの姿があった。そして、その子の隣には、一人前忍者になつた我が子の姿にわくわくする保護者がいた。おひろめ会が始まると、忍者たちは試験日以上に張り切って術を披露していた。なぜなら、そこには『かっこいい！』『次は何を披露してくれるんだろう』と、楽しみながら応援し、温かく見守ってくれている保護者や地域の方がいてくれたからだ。みんなに見守られ技を披露した子ども忍者たちは、無事忍者学校を卒業することができた。



忍者の世界に入り込み、術を習得していく中で一人前忍者試験に挑戦！それが普通で言う運動会のリハーサル。運動の好きな子も嫌いな子も、参加する人も見る人もやる人も、みんなが心から楽しめる夢の世界に入り込み、気が付くと運動会当日を迎える。そこでは健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり生命尊重、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現…全ての力が養われていた。

なによりも、子どもたちみんなが、うきうきわくわくしながら日々を過ごし、おひろめ会当日を迎えた。その時の子どもたちは、どの子もキラキラ輝いていた。

## ○私立幼稚園に対する助成状況調査

## 令和元年度 経常費等補助単価

都道府県名	学法・学法予定	学法・学法予定以外の金額、名称	
北海道	183,135		
東北	青森	187,649	
	岩手	185,172	
	宮城	182,571	74,672 教育振興補助
	秋田	187,449	
	山形	191,401	
	福島	190,377	63,459 教育振興事業補助
関東	茨城	200,871	
	栃木	193,500	39,100 教材費等補助
	群馬	203,187	
	埼玉	188,044	51,486 運営費
	千葉	196,549	8,734,000 (1園) 教育振興事業補助
	新潟	204,316	
東山梨	山梨	192,408	
	東京	203,646	48,825 教育振興事業費補助
神奈川	標準運営方式のため単価なし		
東海・北陸	富山	215,582	
	石川	203,634	
	福井	187,449	
	長野	178,724	
	岐阜	203,656	
	静岡	199,649	
近畿	愛知	187,449	74,200 経常費
	三重	187,915	
近畿	滋賀	170,000	
	京都	213,135	52,566 教材費等補助
	兵庫	197,537	53,850 経常費
	奈良	193,500	
	和歌山	189,310	
大阪	189,049	56,700	教育研究費等補助
中国	鳥取	165,193	
	島根	R元年度対象園なし	
	岡山	179,103	
	広島	197,911	
	山口	192,000	
四国	徳島	198,974	
	香川	190,796	
	愛媛	188,449	
	高知	187,629	
九州	福岡	195,588	30,000 教育振興事業費補助
	佐賀	189,832	
	長崎	186,541	
	熊本	187,397	
	大分	184,888	
	宮崎	187,107	
	鹿児島	185,088	
	沖縄	186,470	

注) 金額は園児1人あたり年額(単位:円)／当初予算・補正見込み分を含む。

注) 都道府県私学担当課からの報告による。令和元年5月1日現在、全日私幼連調べ

## 令和元年度 私立幼稚園等に対する都道府県補助状況

都道府 県名	費 目	金額 (千円)		対象					
		30年度	元年度	私立幼稚園			認定こども園		
				私学助成 学法	私学助成 非学法	施設型給付 学法	施設型給付 非学法	幼稚園型	幼保連携型 学法
北海道	管理運営対策費(単価 183,135円／人)	3,191,865	2,189,237	○				○	○
	新制度移行分	351,570	1,337,057		○				
	特別支援教育対策促進費 (3人以上就園: 589,000円／人)	914,717	113,677	○					
	教員人材確保支援事業費	45,887	42,840	○					
	子育て支援対策事業費	69,368	246,090	○	○	○	○	○	○
	耐震化促進事業費	—	498,001	○		○		○	
青森県	経常費(単価 187,649円／人)	225,622	211,481	○	○			○	○
	特別支援教育費 (対象園児2人以上: 784,000円／人)	58,800	69,776	○		○			
	特別支援教育費【県単分】 (対象園児1人のみ: 392,000円／人)	6,997	9,408	○		○		○	○
	特色教育支援経費	87,958	102,830	○		○		○	○
	被災児生徒授業料等減免補助	—	314	○	○	○	○	○	○
	私立学校耐震化促進事業費	—	60,808	○				○	○
	認定こども園耐震化促進事業費	—	375,834					○	○
	認定こども園整備事業	29,566	371,942					○	○
	私立学校振興活動費	—	100						
	研修事業費	80	80						
	幼児教育緊急環境整備事業費	4,351	14,698	○		○		○	
	認定こども園防犯対策整備費	450	10,654					○	
	園務改善ICT化促進事業費	2,779	2,160	○		○		○	
岩手県	運営費(単価 185,172円／人)	768,862	752,910	○		○		○	
	一般補助	998	14,400	○					○
	緊急安全対策							○	○
	特色ある幼児教育等推進事業	—	500	○				○	○
	財務状況改善	—							
	一種免許状保有促進	40	120	○				○	○
	特色ある幼児教育振興	28,930	33,616	○				○	○
	認定こども園等への円滑な移行準備支援	—	600	○				○	○
	園務改善のためのICT化支援	—	1,620	○				○	○
	教育改革推進特別経費	—							
	預かり保育推進	87,360	105,260	○					
	子育て支援活動の推進	68,240	75,880	○				○	○
宮城県	特別支援教育費 (対象幼児2人以上: 784,000円／人、1人: 392,000円／人)	99,960	130,144	○				○	○
	運営費(単価 182,571円／人)	3,940,840	3,618,375	○				○	○
	特別補助	9,732	7,154						
	教育振興補助	61,942	30,765						
	私立学校特別支援教育教育費 (対象園児2人以上: 784,000円)	260,288	283,808	○		○		○	○
	私立幼稚園特別支援教育教育費 (対象園児1人: 392,000円)	10,271	13,328	○	○	○	○	○	○
	教育改革推進特別経費	—							
秋田県	学校安全の推進	4,493	6,675	○	○	○	○	○	○
	預かり保育	327,117	318,460	○	○	○	○	○	○
	認定こども園移行等推進事業費	4,334	17,800	○	○	○	○	○	○
	一般補助(単価 187,449円／人)	176,202	157,397	○					
	加算分(人材確保単価24,000円／年)	—	1,536	○				○	○
山形県	加算分(一種免許単価9,000円／年)	—	1,062	○		○		○	○
	特別支援教育費 (学法・1人: 392,000円、2人以上: 784,000円) (非学法・1人: 65,000円)	80,729	87,481	○	○	○	○	○	○
	預かり保育推進事業費	22,689	28,260	○	○	○	○	○	○
	保育料軽減事業	635	1,141	○	○	○	○	○	○
	遊具等整備事業	2,943	12,625	○		○		○	○
	ICT化支援事業	1,080	540	○		○		○	
	一般補助(単価 191,401円／人)	844,997	642,805	○					
福島県	特別支援教育運営費 (1人: 392,000円、2人以上: 784,000円)	78,900	77,750	○				○	○
	子育て支援事業費	4,444	17,916	○		○		○	
	緊急環境整備事業費	811	540	○		○		○	
	園務改善のためのICT化支援事業費	352	296	○		○		○	
	被災児生徒等就学支援事業費								

都道府 県名	費 目	金額(千円)		対象					
		30年度	元年度	私立幼稚園		認定こども園			
				私学助成 学法	非学法	施設型給付 学法	非学法	幼稚園型	幼保連携型 学法
	(1人392,000円、2人以上784,000円) 教育振興事業(単価63,459円/人) (心身障がい児1人392,000円、2人以上784,000円) 設備整備事業補助(災害復旧事業) 被災園児就園支援事業 被災私立学校復興支援事業 認定こども園支援事業(子育て支援) 未来の子どもを守る食の安全確保事業 未来を担う子どもたちの安心就学環境支援事業 心と体いきいき事業 認定こども園等の環境整備事業	14,279	13,275		○				
	450	34,910	○	○		○	○	○	○
	18,185	42,293	○	○	○	○	○	○	○
	127,590	132,878	○	○	○	○	○	○	○
	18,169	25,200	○					○	○
	723	1,372	○			○		○	○
	—	25,000	○			○		○	○
	27,046	—	○			○		○	○
	13,708	34,340	○			○		○	○
茨城	経常費(単価200,871円/人) 預かり保育推進事業費 特別支援教育補助事業費 (障害児2人以上784,000円/人、1人392,000円/人) 保育料減免事業費 認定こども園等教育支援体制整備事業費 認定こども園施設整備事業費 幼児教育等サポートスタッフ配置支援事業費 保育対策総合支援事業費 教員復職・支援員育成事業費 子育て支援員養成事業費	1,144,633	1,117,246	○		○		○	○
	123,364	150,958	○			○		○	○
	305,368	313,600	○			○		○	○
	—	712	○			○		○	○
	41,682	108,000						○	○
	353,884	702,009						○	○
	46,817	59,400				○		○	○
	—	599,989						○	○
	16,052	42,114	○			○		○	○
	43,848	57,042						○	○
栃木	運営費(単価193,500円/人) 教材費等補助(単価39,100円/人) 地域子育て推進事業費 特別支援教育費 (学法・1人784,000円/非学法・1人392,000円) 被災幼児保育料等減免補助 耐震化促進事業費 緊急環境整備事業費	2,181,773	2,155,473	○		○		○	○
	664	939		○		○		○	○
	157,450	163,080	○	○	○	○	○	○	○
	452,368	497,057	○	○	○	○	○	○	○
	—	176	○	○	○	○	○	○	○
	289,976	618,995	○	○	○	○	○	○	○
	21,608	75,590	○					○	○
群馬	経常費(単価203,187円/人) 預かり保育推進事業費 子育て支援事業費 特別支援教育経費 耐震診断促進費 耐震化整備事業費 認定こども園等における教育支援体制整備事業	632,221	412,847	○					
	19,412	8,660	○						
	6,748	4,200	○						
	61,104	71,344	○	○	○	○	○	○	○
	290	684	○	○	○	○	○	○	○
	—	111,851	○	○	○	○	○	○	○
	6,782	33,427	○	○	○	○	○	○	○
埼玉	運営費(単価188,044円/人・学法) " (単価51,486円/人・非学法) 保育料軽減事業 被災児童生徒授業料等減免事業 特別支援教育費 (対象園児2人以上784,000円/人、1人392,000円/人) 幼児教育質の向上のための緊急環境整備補助 認定こども園等準備支援補助 緊急環境整備補助 ICT化支援補助	17,231,548	16,880,230	○					
	—	48,448		○					
	22,897	19,380	○	○	○	○	○	○	○
	1,993	6,886	○	○	○	○	○	○	○
	803,208	914,340	○	○	○	○	○	○	○
	45,987	147,716	—	—	—	—	—	—	—
			○			○		○	○※
千葉	経常費(単価196,549円/人) " (特別補助(親と子の育ちの場推進経費)) " (特別補助(特別支援教育経費)) (1人392,000円/人、2人以上784,000円/人) 人材確保支援事業 環境整備事業 園務改善のためのICT化支援事業 教育振興事業 特別支援教育振興事業 (1人就園196,000円、複数就園392,000円) 被災者・県外避難者保育料等減免補助 耐震化緊急促進事業 ブロック塙等安全対策事業 子育て支援施設等利用給付費 認定こども園への円滑な移行のための準備支援事業 保育教諭確保のため幼稚園教諭免許状取得支援事業	12,314,111	12,460,668	○		○		○	○
	438,872	483,000	○			○		○	○
	415,543	412,000	○			○		○	○
	131,216	247,000	○					○	○
	40,045	154,000	○					○	○
	8,022	15,000	○						
	81,248	87,340	○						
	6,468	7,900	○						
	—	440	○	○	○	○	○	○	
	191,868	473,000	○	○	○	○	○	○	
	4,976	6,000(前年度繰越分)	○					○	
	—	2,500,000	○	○					
	4,914	18,400	○						
	647	1,075						○	○
新潟	振興補助(単価204,316円/人) " (単価17,800円/人) 教育改革推進特別経費 特別支援教育費	494,049	413,079	○		○		○	○
	190,640	197,622	○			○		○	○
	109,605	106,232	○			○		○	○

都道府 県名	費 目	金額(千円)		対象					
		30年度	元年度	私立幼稚園		認定こども園		幼稚園型	幼保連携型
				私学助成 学法	非学法	施設型給付 学法	非学法		
	(対象園児2人以上784,000円/人、1人392,000円/人) 子育て支援推進事業 認定こども園施設整備事業補助 緊急環境整備事業 保育教諭確保のため幼稚園教諭免許状取得支援事業	24,878 550,352 16,806 1,487	25,300 553,927 84,700 4,687	○ ○		○ ○		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
山梨	運営費(単価192,408円/人) 特別支援教育費 (対象園児2人以上784,000円/人、1人196,000円/人) 認定こども園整備事業費 緊急環境整備事業費 防犯対策整備支援事業費 保育教諭確保対策支援事業費 幼稚園教諭免許状更新講習受講支援事業費 園務改善のためのICT化支援事業費 処遇改善推進事業費	426,342 45,864 91,375 4,172 4,155 93 544 1,869 434	412,965 41,944 167,483 19,368 — 245 486 1,620 1,039	○ ○		○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
東京	経常費(単価203,646円/人) 教育振興事業費(単価48,825円/人) 特別支援学校等経常費(単価784,000円/人) 特別支援教育事業費(単価392,000円/人) 安全対策促進事業費 預かり保育推進補助 園児保護者負担軽減事業費 教育研究費 省エネ設備等導入事業費 認定こども園整備費等補助 環境整備費 被災生徒等臨時支援金 被災生徒等授業料等減免事業費補助金 施設型給付費負担金 私立幼稚園等一時預かり事業費 特色教育等推進補助 子育て支援施設利用給付事業費	18,678,114 1,015,151 1,696,628 435,904 1,778,612 1,081,320 4,148,967 68,431 305,034 430,341 152,440 632 18,644 3,876,841 785,224 40,466 —	17,976,252 957,179 2,056,769 502,544 5,629,580 936,766 4,132,088 72,905 309,263 675,359 195,086 876 25,455 5,130,463 963,053 53,158 5,175,216	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
神奈川	経常費(標準運営方式のため単価なし) 預かり保育推進費 地域開放推進費 特別支援教育費 (国庫:2人以上784,000円/人、県単:1人392,000円/人) 施設耐震診断調査費 認定こども園移行幼稚園耐震化工事費 緊急環境整備費 移行準備費 園務改善費 認定こども園施設整備交付金事業費 幼稚園型認定こども園安全管理体制緊急整備事業費 安心こども交付金事業費(認定こども園)	12,319,914 437,155 156,609 1,871,800	11,585,590 413,445 166,200 1,920,016	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	△ ○ ○ ○	△ ○ ○ ○	△ ○ ○ ○	△ ○ ○ ○
富山	経常費(単価215,582円/人) 教育振興費を除く場合(単価187,107円/人) 教育振興費【国補助分】 教育環境整備事業費 保育料軽減事業費 振興対策 振興会運営費 教育支援体制整備事業補助 施設整備補助 防犯カメラ等設置促進事業補助 東海北陸地区教研大会補助 施設型給付費県費補助金 施設型給付費県費負担金 子育て支援施設等利用給付	300,160 25,218 2,484 13,939 720 1,170 5,025 120,631 — — 475,001 516,438 —	147,652 32,662 2,000 9,502 720 1,170 40,217 283,276 1,500 500 524,035 639,513 41,224	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
石川	経常費(単価203,634円/人) 障害児就園対策費 (対象園児2人以上784,000円/人) 預かり保育推進費 教育環境整備費 子育て支援推進費 団体補助 幼児教育緊急環境整備 保育士資格取得支援事業費	980,345 83,888 24,432 6,102 7,613 3,300 5,478 124	919,262 100,352 24,714 6,461 9,600 3,300 13,032 753	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

都道府 県名	費 目	金額(千円)		対象					
		30年度	元年度	私立幼稚園		認定こども園		幼稚園型	幼保連携型
				私学助成 学法	非学法	施設型給付 学法	非学法		
福 井	教育振興費(単価187,449円/人)	198,840	141,765	○		○		○	○
	一種免許状加算分(園児1人210円/人)	66,559	80,671	○		○		○	○
	特別支援教育事業費 (2人以上就園784,000円/人)	36,120	21,660	○		○		○	○
	預かり保育推進事業費	16,800	32,400	○		○		○	○
	緊急環境整備事業費	12,225	47,876	○		○		○	○
	園務改善のためのICT化支援事業費	2,244	2,160	○		○		○	
長 野	教育振興費(単価178,724円/人)	1,877,147	1,822,925	○		○		○	○
	教員待遇改善補助	2,414	2,951	○					
	認定こども園等の環境整備事業補助	118,977	414,743	○	○	○	○	○	○
	施設型給付費負担金・補助金	486,387	437,621	○	○	○	○	○	○
岐 阜	子育て支援施設等利用給付費負担金	—	246,442	○	○	○	○	○	○
	教育振興費(単価203,656円/人)	4,139,721	3,991,634	○		○		○	○
	預かり保育事業	161,265	164,125						
	休業日預かり保育事業	44,924	38,030						
	地域教育センターの事業	92,632	93,536						
	英語教育推進事業	73,999	74,573						
	特別支援教育推進事業	301,399	327,125						
	幼児教育緊急環境整備事業費	1,699	20,000	○		○		○	○
	認定こども園施設整備事業費	271,105	203,894	○		○		○	○
	耐震整備事業費	—	70,333	○					
	連合会補助	270	270						
	P T A連合会補助	180	180						
	子育て支援事業補助	360	360						
静 岡									
	経常費(単価199,649円/人)	5,145,597	4,987,300	○					
	障害児教育費 (心身障害児2人以上在籍:1園児1あたり784,000円)	224,224	256,300	○		○		○	
	教育支援体制整備事業費	8,502	45,600	○		○		○	
	子育て支援事業費(預かり保育)	94,364	98,000	○		○		○	
	"(子育て支援)"	4,877	5,000	○					
	地震対策緊急整備事業費	6,231	141,416	○					
	教員人材確保支援事業費	8,317	74,700	○					
愛 知	私立学校教育環境整備事業費	—	800	○		○			
	経常費(学法単価187,449円/非学法単価74,200円)	12,617,538	12,338,495	○	○				
	"(特別補助)"	1,494,108	1,573,242	○	○	○	○	○	
	特別支援教育費 (学法園児784,000円/人、非学法園児274,000円/人)	804,149	865,576	○	○	○	○	○	
	施設整備費	115,372	1,000,000	○		○		○	
	授業料等軽減補助	6,147	4,890	○	○	○	○	○	
	私学団体補助	160	140	—	—	—	—	—	
三 重	教育支援体制整備事業費	24,644	75,000	○		○		○	
	振興補助(単価187,915円/人)	1,376,141	1,142,498	○		○		○	
	被災児童等保育料等減免補助	—	268	○		○		○	
	心身障がい児助成事業	85,064	106,232	○		○		○	
	(国庫:784,000円、県単:392,000円)								
	教育改革推進特別補助(子育て支援)	15,236	14,754	○		○		○	
	"(預かり保育)"	21,337	22,510	○		○		○	
滋 賀	園舎等耐震化整備費	—	2,762	○		○		○	
	緊急環境整備事業費	3,468	20,111	○		○		○	
	園務改善ICT化支援事業	2,116	—	○		○		○	
京 都	滋賀補助(単価170,000円/人)	243,852	235,322	○					
	教育支援体制整備費	11,000	(上記に含む)	○					
	"	13,200	14,600	○		○		○	
	特別支援教育事業費	99,396	97,890	○		○		○	
	(学法・対象園児2名以上753,000円)								



都道府 県名	費 目	金額(千円)		対象					
		30年度	元年度	私立幼稚園		認定こども園		幼稚園型	幼保連携型
				私学助成 学法	非学法	施設型給付 学法	非学法		
	緊急環境整備事業費 処遇改善事業費	1,561 1,692	10,108 2,968	○ ○		○ ○		○	○ ○
広島	経常費(単価 197,911円/人)	4,602,025	4,630,632	○		○ ○		○	○
	耐震化緊急促進事業	40,971	76,241	○		○ ○		○	○
	教育支援体制整備事業	13,641	46,654	○		○ ○		○	○ ○
	幼稚園機能充実支援事業	169,286	430,984	○		○ ○		○	○ ○
	教員確保支援補助	29,121	98,484	○		○ ○		○	○
	ブロック塀等安全対策補助	252	49,129	○	○ ○	○ ○			
山口	運営費(単価 192,000円/人)	1,085,280	987,264	○					
	教員処遇改善促進事業	4,395	8,000	○					
	預かりサポート推進事業	277,819	297,825	○		○ ○		○	○ ○
	地域子育て支援事業	14,253	14,082	○		○ ○		○	○ ○
	耐震化促進事業	3,542	364,198	○		○ ○		○	○ ○
	認定こども園施設整備事業	37,433	158,738	○		○ ○		○	○ ○
	耐震化促進リリース補給事業	1,569	1,423	○		○ ○		○	○ ○
	教職員研修補助	140	140			○ ○		○	○ ○
	教育支援体制整備事業	8,236	41,392	○		○ ○		○	○ ○
徳島	運営費(単価 198,974円/人)	135,567	125,371	○				○	○ ○
	緊急環境整備事業	168	—	○		○ ○		○	○ ○
香川	経常費(単価 190,796円/人)	529,904	497,886	○					
	特別補助	60,826	66,980	○		○ ○		○	○ ○
	特別支援教育費 (対象児童2人以上 784,000円/人)	84,672	94,080	○		○ ○		○	○ ○
	教育支援体制整備事業費	2,687	8,314	○		○ ○		○	※ ○(学法のみ)
	教員研修費	82	462	○		○ ○		○	※ ○
愛媛	運営費(単価 188,449円/人)								
	一般補助	1,019,969	886,013	○					
	人材確保支援	2,414	18,832	○				○	○ ○
	特別支援教育	70,706	73,274	○		○ ○		○	○ ○
	(国補:2人以上 392,000円、県単:1人 185,888円) 子育て総合支援事業 (基本単価1,060,000円~1,085,000円、加算単価100,000円~1,100,000円)	80,390	90,560	○		○ ○		○	○ ○
高知	運営費(単価 187,629円/人)	59,946	62,660	○		○ ○		○	○ ○
	子育て支援推進事業費	27,895	36,040	○		○ ○		○	○ ○
	特別支援教育費 (対象園児2人以上 784,000円/人、1人 392,000円/人)	36,248	34,496	○		○ ○		○	○ ○
	認定こども園施設整備費	53,974	314,001					○	○ ○
	緊急環境整備事業費	3,723	6,539	○	○	○ ○	○	○	○ ○
	"	—	1,620	○	○	○ ○	○	○	○ ○
	耐震診断事業費(私立分)	2,232	—	○	○	○ ○	○	○	○ ○
	保育料減免補助(被災児童)	—	36	○	○	○ ○	○	○	○ ○
	産休等代替職員雇用事業費	—	2,455	○	○	○ ○	○	○	○ ○
	地域型保育人材育成事業費	—	1,263	○	○	○ ○	○	○	○ ○
福岡	経常費(単価 195,588円/人)	9,838,815	9,250,450	○					
	保護者に対する入園料補助(単価5,000円/人)								
	保護者に対する教材費補助(単価8,000円/人)								
	体験教育推進加算(単価300,000円/園)	155,390	144,090	○					
	特別支援教育加算(単価392,000円/人)								
	特別補助・教育改革推進特別経費 (単価80,000~1,330,000円/園)								
	教育振興事業費(単価30,000円/人)	29,727	27,510	○		○ ○		○	○ ○
	設備費	48,292	51,191	○		○ ○		○	○ ○
	①経常費 (特別補助:子ども・子育て支援新制度移行幼稚園支援経費)	201,278	261,943						
	②教育振興事業費 (保護者に対する教材費補助(単価8,000円/人)) (体験教育推進加算(単価300,000円/園・学法)) (特別支援教育加算(単価392,000円/人・学法)) (預かり保育推進事業費 (単価80,000~1,330,000円/園・学法))								
	振興協会補助	9,693	9,747	○	○	○ ○	○	○	○ ○
	耐震化促進費	53,815	65,824	○	○	○ ○	○	○	○ ○
佐賀	運営費(単価 189,832円/人)※私学助成園のみ 一種免許(単価 95,400円/人)	399,451	252,671	○		○ ○		○	○ ○
	人材確保(単価2,500円/人月)※私学助成園のみ								
	預かり保育推進事業費	47,151	44,743	○		○ ○		○	○ ○
	子育て支援推進費	23,534	23,454	○		○ ○		○	○ ○
	特別支援教育費 (対象児童2人以上 784,000円/人、1人 392,000円)	133,043	129,966	○		○ ○		○	○ ○

都道府 県名	費 目	金額(千円)		対象					
		30年度	元年度	私立幼稚園		認定こども園		幼稚園型	
				私学助成 学法	非学法	施設型給付 学法	非学法	幼保連携型 学法	非学法
長崎	教育振興費(単価186,541円/人)	938,210	723,571	○		○		○	○
	特別支援教育費 (園児2人以上784,000円)	59,792	86,240	○		○		○	○
	子育て支援活動推進事業費	63,111	68,000	○		○		○	○
	預かり保育推進事業費	41,812	38,800	○		○		○	○
	安心こども基金事業費	117,633	380,704	○	○	○	○	○	○
	耐震化緊急整備事業	—	141,903	○	○	○	○	○	○
熊本	経常費(単価187,397円/人)	820,870	642,518	○	○	○		○	○
	特別支援教育経費 (対象園児2人以上784,000円/人、1人392,000円)	165,585	180,712	○		○		○	○
	子育て支援事業	32,298	32,400	○	○	○		○	○
	連合会研修費	543	1,043						
	施設安全ストック形成促進事業	724	18,791	○	○	○	○	○	○
	人材確保支援事業	2,500	11,539	○					
	緊急環境整備事業	19,267	44,962	○		○		○	○
	保育教諭確保のための幼稚園免許状取得支援事業	630	4,194						
	認定こども園等への準備支援事業	1,155	3,000	○				○	○
	園務改善のためのICT化支援事業	4,674	4,530	○				○	○
	認定こども園等における質の向上のための研修支援事業	271	3,462						
大分	運営費(単価184,888円/人)	653,556	522,796	○		○		○	○
	特別支援教育費 (園児2人以上784,000円、園児1人392,000円)	109,760	97,608	○		○		○	○
	教育改革推進特別補助	33,930	33,560	○		○		○	○
	処遇改善加算	1,319	5,328	○					
	団体補助	665	665						
	保育料減免補助	8,247	4,784	○					
宮崎	振興費(単価187,107円/人)	121,423	175,948	○				○	○
	教育改革推進特別経費	3,132	3,836	○				○	○
	預かり保育推進事業	19,471	17,295	○				○	○
	就学前特別支援教育経費補助事業 (園児2人以上784,000円/人、1人392,000円/人)	14,173	22,359	○				○	○
	認定こども園整備事業費(安心こども基金)	33,222	5,663					○	○
	環境整備事業	24,344	59,936	○		○		○	○
	幼稚園業務ICT化支援事業	777	8,250	○		○		○	○
	幼児教育・保育の質の向上推進事業	1,185	1,888	○	○	○		○	○
	認定こども園施設整備事業費 " (防犯対策整備)	57,979	188,673					○	○
	" (耐震化整備)	2,641	2,732					○	○
	—	50,253	—					○	○
鹿児島	運営費(単価185,088円/人)	1,017,614	922,413	○					
	小規模園対策補助	2,688	1,777	○				○	○
	運営費補助(一種免許状保有促進事業費)	548	459						
	運営費補助(処遇改善補助事業)	1,778	3,180	○				○	○
	魅力ある私立学校づくり補助	42,296	42,296	○	○	○		○	○
	預かり保育推進事業費	36,106	29,509	○					
	休業日預かり保育推進事業費	17,181	15,863	○					
	特別支援教育費 (対象園児2人以上784,000円)	252,392	275,963	○		○		○	○
	耐震化促進事業	1,656	1,201	○	○	○		○	○
	—	—	—						
沖縄	運営費(単価186,470円/人)	503,353	472,756	○					
	特別補助	78,622	95,409	○		○		○	○
	特別支援教育補助 (学法2人以上784,000円/人、全幼1人392,000円)	33,320	30,184	○		○		○	○
	被災児童生徒等授業料等軽減費	—	627	○		○		○	○
	緊急環境整備	2,531	21,290	○		○		○	○
	—	—	—						

注) 都道府県私学担当課からの報告による。令和元年5月1日現在、全日私幼連調べ

注) 平成30年度額は実績分。令和元年度額は当初予算案・補正見込み分を含む。

注) 日本私立学校振興・共済事業団・退職財団・退職社団および融資機関に関するものは除く。

注) 令和元年度補助状況調査の内容は、全日本私立幼稚園連合会HPにて公開しております。

# はじめてみませんか 寄付金募集

寄付金募集の際には日本私立学校振興・共済事業団の

## 受配者指定寄付金制度

受配者指定寄付金制度を利用して、学校法人立の私立幼稚園へ寄付を行うと、寄付者（企業・法人）は法人税法上の優遇措置として全額損金算入することができます。

ご利用には一定の要件があります  
まずは、下記までお気軽にご相談ください

日本私立学校振興・共済事業団  
助成部 寄付金課  
〒102-8145  
東京都千代田区富士見 1-10-12  
TEL 03-3230-7316 ~ 7318  
e:mail kifukin@shigaku.go.jp  
HP-URL <https://www.shigaku.go.jp/>

※学校法人が設置する幼保連携型認定こども園に対する寄付金もこちらの制度の対象となります



## 「学生がまんなか」の就職・採用活動への改革

厚生労働省「職業安定業務統計」によると、令和元年10月の全職種の有効求人倍率（全国）1.60倍に対して、保育職の有効求人倍率は3.05倍となっています。福井県の保育職の有効求人倍率は3.39倍と全国平均より高い水準となっています。

このような状況の中、いかに良い人財を採用するかは福井県でも最重要課題の一つです。福井県私立幼稚園・認定こども園協会では、これまで協会主催の「統一採用試験」を実施し、その後各園での採用活動を行ってきました。然しながら昨今の学生のニーズの変化を踏まえ、何十年と続いていた「統一採用試験」を廃止し、2020年度の新卒採用より「就職エントリー制」へと移行しました。協会として実施していた筆記試験・面接等は各園での採用試験に委ね、まずは一般企業と同様に、スマホでも入力できるシステムを活用して手軽にエントリー（登録）出来るようにしました。2021年度の新卒採用に向けては、さらにLINEの協会公式アカウントを作成し、学生との接点を増やしていく予定です。また、エントリーは一年を通して可能ですので、実質的な通年採用へと移行したことも大きな変更点です。

この大きな改革にあたっては、地元の養成校の皆様とも交流を重ね、協議を深める中で、単に採用試験のあり方を変更するだけではなく、実習のあり方なども見直し、より「幼児教育という仕事の素晴らしさ」を学生に体感してもらうことも大切にしています。

実施初年度には様々な課題も出て参りましたので、加盟園や養成校の皆様と引き続き協議を重ね、より「学生をまんなか」にした就職・採用活動を目指していきます。

（福井県私立幼稚園・認定こども園協会理事、福井市・認定こども園エンゼル幼稚園／中澤秀徳）

## 幼保小の円滑な接続・連携のための研修会

鹿児島県私立幼稚園協会は、令和元年8月19日「幼保小の円滑な接続・連携のための研修会」を鹿児島県との共催で実現でき、県教育委員会をはじめ多くの幼児教育関係機関の後援・協力をいただき開催しました。平成30年度に、新しい幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針が実施となり、令和2年度には小学校等の新学習指導要領が本格実施になることを踏まえ、「幼児期・児童期において育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼稚園教諭、保育教諭、保育士、そして小学校教諭を交えて、共に学び理解し接続に繋ぐことを目的にした研修会です。

第1部に無藤隆先生（白梅学園大学院特任教授）をお招きして、テーマ「幼児教育の質の向上と幼保小接続・要領の改訂を受けて」の講演、第2部に幼稚園・認定こども園長、小学校長、県教育委員会指導主事の3名と無藤先生にご登壇頂き、それぞれの立場からの現状や今後の課題等について語り合う「シンポジウム」の2部構成で開催しました。

参加者は協会加盟園、保育所、小学校関係はもちろん、その他、短大、行政関係者243施設・計631名の皆様方にご参加いただき、一同に幼保小接続・連携について意見交換いたしました。この研修会を通して、幼保小の接続・連携こそが子ども達の育みに最も重要であること、また鹿児島県においては小学校現場での幼児教育に対する理解がまだまだ進んでいないこと、幼保小連携に関する推進は、私ども協会が主となり進めるべきこと、などを痛感しました。今後もこの研修は可能な限り、続けていきたいと考えています。

（（一社）鹿児島県私立幼稚園協会副会長、鹿児島市・認定こども園吉田南幼稚園／橋口孝志）

## 編集後記

◆春風とともに東京オリ・パラ大会開催の新年度を迎えました。待望の国際大会ですが、一方新年早々発症の新型コロナウイルス感染の世界的蔓延終息が心配される状況です。こんな環境の中、年度計画の具体的なスタートです。昨年10月からの無償化実施の定着、それに伴う教育・保育の資質向上への対応、更には社会に開かれた指導課程の公表・評価等が喫緊の課題です。特に、幼児期における教育・保育の資質向上について問い合わせの兆し。◆主体的に対話活動を通した深い学びを根

底に、育成する資質や能力として、①個別の知識や技能（何を知っているか）、②思考力・判断力・表現力等（知っていることをどう使うか）、③学びに向かう力、人間性等（どう社会と関わり、よりよい生活を営むか）が柱。保幼小の接続を念頭に「社会の変革とともに生きる子ども」の育ちのために何が課題で、自園の子どもをどうするか、質の向上のため改めて教職員自らが問い合わせ実践する時を迎えております。

（全日私幼研究機構副理事長・坂本洋）

### 令和2年度（第2回）免許状更新講習の認定一覧

#### ●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
静岡県 静岡市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月5日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	宮下 友美恵（静岡県立大学 短期大学部非常勤講師）	6時間	令和2年8月4日	220人	令02-80011-100814号
石川県 金沢市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月28日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	加藤 篤彦（武藏野東第1・第2幼稚園 園長）	6時間	令和2年8月11日	150人	令02-80011-100815号
京都府 京都市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月22日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	田中 雅道（専務理事） 藤本 明弘（学校法人嵯峨学園嵯峨幼稚園 園長）	6時間	令和2年7月21日	130人	令02-80011-100816号
東京都 千代田区	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は5月10日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	岡本 和貴（学校法人わかくさ学園わかくさ幼稚園 園長） 宮下 友美恵（静岡県立大学 短期大学部非常勤講師）	6時間	令和2年5月9日	150人	令02-80011-100817号

#### ●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
静岡県 静岡市	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月4日開催の必修講習と連続して行うものです。	東 重満（札幌国際大学 人文学部心理学科特任教授） 田中 雅道（専務理事）	6時間	令和2年8月5日	220人	令02-80011-301773号
石川県 金沢市	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月11日開催の必修講習と連続して行うものです。	安達 謙（大阪教育大学 非常勤講師）	6時間	令和2年8月28日	150人	令02-80011-301774号
京都府 京都市	「様々な問題に対する組織的対応の必要性」「学習指導要領の改訂の動向等」「教育課程の編制、実施、評価及び改善の一連の取組」について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月21日開催の必修講習と連続して行うものです。	安達 謙（大阪教育大学 非常勤講師） 宮下 友美恵（静岡県立大学 短期大学部非常勤講師）	6時間	令和2年7月22日	130人	令02-80011-301775号

東京都 千代田区	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は5月9日開催の必修講習と連続して行うものです。	加藤 篤彦（武蔵野東第1幼稚園、第2幼稚園 園長） 東 重満（札幌国際大学 人文学部心理学科特任教授）	6時間	令和2年5月10日	150人	令02-80011-301776号
-------------	---	--	-----	-----------	------	-------------------

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
長野県 松本市	本講習では、近年、長野県内で取り組みが盛んになってきている自然保育について、具体的な実践例を中心に紹介する。一部、身近な自然を題材にした簡単な体験活動（遊び）の実践も予定している。また、屋外での保育活動における安全管理についても、その概要を解説するとともに、危険予知の演習を行う。	田中 住幸（飯田女子短期大学准教授）	6時間	令和2年5月30日	150人	令02-80011-506683号
静岡県 静岡市	『造形の遊び～さまざまな芸術祭とワークショップから学ぶ～』白井先生からは、社会人を対象としたアートマネジメント人材育成事業（文化庁助成事業）の中から、地域リソースを生かした芸術祭や児童も参加できるワークショップの事例を紹介する。また、実技を通して、保育者自ら造形活動に親しむ。『配慮を必要とする子どもたちの理解とその支援』富田先生からは、インクルーシブ教育・保育という誰もが等しく一緒に学べる機会の提供のために、一人ひとりの子どもの発達を理解し、子どもの困り感に寄り添える、個人差に応じた支援について学ぶ。	白井 嘉尚（静岡大学 名誉教授） 富田 久枝（千葉大学 教育学部特命教授）	6時間	令和2年7月29日	220人	令02-80011-506684号
静岡県 静岡市	花輪先生は、『遊びの中の表現活動を目指して～保育者に求められるスキルと多様性～』と題して幼児教育の質向上を目指した保育の取り組みを重視した講習を行います。また、『遊びの中の表現活動』の捉え方や方略を提案し、保育者に求められるファシリテーション（中立的な立場でのサポート）について具体的な方法を検討します。肥後先生は、『乳幼児の心理臨床的理解と保護者支援』と題して乳幼児の心身の発達を理解するため、子どもの「対話性の育ち」という新たな視点を提供し保育者のかかわりのポイントについて考えるとともに、保護者支援の課題についても取り上げた講習となります。	花輪 充（東京家政大学 教授） 肥後 功一（島根大学大学院教育学研究科 教授）	6時間	令和2年7月30日	220人	令02-80011-506685号
静岡県 静岡市	『保育現場で扱う楽器の取り扱い方や奏法を学び、合奏に親しむ（河原田先生）』幼児期の発達段階に合った楽器の取り扱い方を中心に、講義や実技を交えながら身近な楽器の奏法について学び、また合奏する楽しさを味わうことが出来る講義とされる。『幼児教育の質向上とカリキュラム・マネジメント（神長先生）』幼児教育の質向上につながるカリキュラム・マネジメントについて「今、なぜ必要か」「日々の実践と繋げて、どう進めていくか」「それを支える園組織は？」の3つの視点から分かりやすく講義する。	河原田 潤（会津大学短期大学部 教授） 神長 美津子（國學院大學 教授）	6時間	令和2年7月31日	220人	令02-80011-506686号
石川県 金沢市	幼稚園での遊びの様子を例にあげながら、活動体験を中心据えた様々な学びをどのように構想し、援助していくか、さらに振り返りの場をどのように設定するかなどについて具体的に学びます。なお、この講義は、一方的に聴くスタイルではなく、受講者の参加型を基本とします。	松本 謙一（南砺市教育委員会 教育長）	6時間	令和2年7月4日	150人	令02-80011-506687号
石川県 金沢市	本講習では、まず発達障害に関するシミュレーションを通して発達障害のある子どもの気持ちを体験する。そのうえで、ADHD、LD、ASDの各障害の特徴やそのような幼児に対する保育者の関わり方について、解説を加える。なお講習にあたっては、事例を多く紹介し、あわせてグループで事例を検討するような時間も設けたい。	武居 渡（金沢大学 人間社会研究域学校教育系教授）	6時間	令和2年7月11日	150人	令02-80011-506688号
石川県 金沢市	「保育」は、総合的で日常的で、自然な形であるがゆえに、優れた保育実践でも世間の人たちには分かりにくいということを否めません。私達保育の専門家は、説明力や発信力を加えて保育のちからを高めていくことが求められています。講習の中では具体的な事例をもとに保育技術や幼児理解など保育実践の英知を解説し、先生方とつながり、新時代の保育を提案していきたいです。	佐々木 晃（鳴門教育大学 教育実践教授）	6時間	令和2年7月31日	150人	令02-80011-506689号
福井県 福井市	幼稚園教育要領や学習指導要領では、小学校以降の学びの土台として幼児教育が重視されており、その質の向上が求められています。この講義では、乳幼児期の心の育ちについて、その特質を押さえながら、学びにつながる遊びや幼児期の生活の在り方について考えてみたいと思います。同時に、いま求められている保護者支援について、教育相談の視点からの情報をお伝えしたいと思います。	肥後 功一（島根大学 大学院教育研究科教授）	6時間	令和2年8月1日	80人	令02-80011-506690号
福井県 福井市	「保育」は、総合的で日常的で、自然な形であるがゆえに、優れた保育実践でも世間の人たちには分かりにくいということを否めません。私達保育の専門家は、説明力や発信力を加えて保育のちからを高めていくことが求められています。講習の中では具体的な事例をもとに保育技術や幼児理解など保育実践の英知を解説し、先生方とつながり、新時代の保育を提案していきます。	佐々木 晃（鳴門教育大学 教職大学院教育実践教授）	6時間	令和2年8月22日	80人	令02-80011-506691号

福井県 福井市	インクや絵の具、粘土などを用いて、素材からつくりたいものをつくりだす題材を体験することを通して、指導のポイントや環境構成について考える。また、造形的な表現における学習活動の評価方法、及び、個々の作品において発揮されている資質・能力の把握について、ビデオデータや幼児の作品などを用いてワークショップを取り入れながら実践的に理解する。併せて、環境構成のあり方と指導の改善に関する検討する。	奥村 高明（日本体育大学 児童スポーツ教育学部教授）	6時間	令和2年11月7日	80人	令02-80011-506692号
神奈川県 川崎市	「義務教育及びその後の教育の基礎を培う」ことについてあらためて認識を深めるとともに、保育内容の展開・発展の基礎となる幼児期の子どもの発達理解について、具体的な事例を上げながら考察していきます。また、「幼稚園教育要領の保育内容と保育実践の繋がりを考える～指導計画立案、保育の協働性から再考～」について保育者自身の自発性、創造性を高める演習を取り入れて、保育者としての一層の資質向上を目指します。	坪井 葉子（洗足こども短期大学 幼児教育保育科教授） 井上 真理子（洗足こども短期大学 幼児教育保育科准教授）	6時間	令和2年5月20日、 令和2年6月17日	110人	令02-80011-506693号
京都府 京都市	田中雅道先生から幼稚園教育要領について解説していただき、幼児教育の果たす目標、幼小接続等について講義していただく。肥後功一先生から幼児の発達の背景、教育相談をとおしての様々な保護者支援の事例について講義していただく。6月9日には、古賀松香先生から子どもの育ち、学びなど幼児教育の基本について、また、自立、自律心を培う指導について、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえながら講義いただく。	田中 雅道（公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 専務理事） 肥後 功一（島根大学 大学院教育学研究科教授） 古賀 松香（京都教育大学 教育学部准教授）	6時間	令和2年5月28日、 令和2年6月9日	135人	令02-80011-506694号
京都府 京都市	午前中に森口佑介先生から「子ども期における社会性の発達」について、研究報告等に基づき解説し、発達に関わるキー ポイントを講義していただく。午後、秦賢志先生からワーク ショップによりファシリテーターとしての保育者、幼稚園での研修の深め方について学ぶ。秦先生にはゲストスピーカーでお願いしている。	森口 佑介（京都大学 大学院教育学研究科准教授）	6時間	令和2年7月11日	135人	令02-80011-506695号



チャイルドブックの月刊保育雑誌



定価 本体 1,000円+税  
<http://www.childbook.co.jp/pot/>

2020年度のPotは  
**大特集 & プチ特集の  
 保育力アップ！**

2020年度のPotは、じっくり読める大特集と、  
 手軽に読める「プチ特集」の2本立て。  
 スキルアップに必ず役立ちます。

チャイルド本社

〒112-8512 東京都文京区小石川5-24-21  
 TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392  
<http://www.childbook.co.jp/pot/>

ご注文は、貴園担当のチャイルドブック販売店  
 または書店まで。